

<はじめに>

子どもたちの言動には必ず理由があります。学習場面や生活場面で周囲の大人や友だちが「おや?」と思ったり、「どうして?」と感じたりする言動にも、その子なりの意味があります。一人ひとりの顔が違うように、一人ひとりの考え方も異なります。得意なことと苦手なことも違います。苦手なことへの支援は、誰にとっても必要なことです。ただ、支援の量や方法が異なるだけなのです。

子どもの理解の仕方やもっている力を、周囲が正しく理解した上で適切に指導したり、必要な支援をしたりすること、また、子ども自身が自己理解し学習に臨むことが、学力の向上や望ましい行動の定着につながっていきます。「計算方法が身に付いた」「漢字をたくさん覚えた」といった知識を身に付けることやスキルのなことだけではなく、思考力・判断力・表現力等の資質や能力を伸ばすための支援を子ども達は求めています。学力が向上することで得た自信や、望ましい行動の定着によって得られた評価は、次への意欲となるからです。

子どもが、成功体験や達成感を積み重ねる中で、学力向上を図ると共に、自己理解が進み自己実現に向けて前向きに取り組めるように、支援の視点として本資料集を活用していただければと思います。

<目 次>

活用の仕方	1
★ちょこっとコラム 【意欲をつなぐ学習評価・評定編】	1
スタディスキル1	
「ノートをうまくとるために!」～板書を写すことが難しい～	2
スタディスキル2	
「家庭学習の仕方を身に付けるために!」～定期テストの準備をしよう～	4
スタディスキル3	
「学習の準備をするために!」～忘れ物が多い、提出物が出せない～	6
★ちょこっとコラム 【ノート編】	9
スタディスキル4	
「学習態勢を整えるために!」～意欲を育てて、学習効果を上げよう～	10
スタディスキル5	
「中学校へのスムーズな移行のために!」～小中一貫教育で安心して新しい環境へ～	13
★ちょこっとコラム 【チャイム編】	13
ソーシャルスキル1	
「学校生活をスタートするために!」～安心して入学式を迎えよう～	14
ソーシャルスキル2	
「行事への参加ができるために!」～運動会の練習に参加しよう～	15
ソーシャルスキル3	
「係や当番活動ができるために!」～役割を果たして達成感を～	16
ソーシャルスキル4	
「コミュニケーションをとるために!」～上手に頼もう!断ろう!～	17